



# 将来起こる災害を知り、備える。

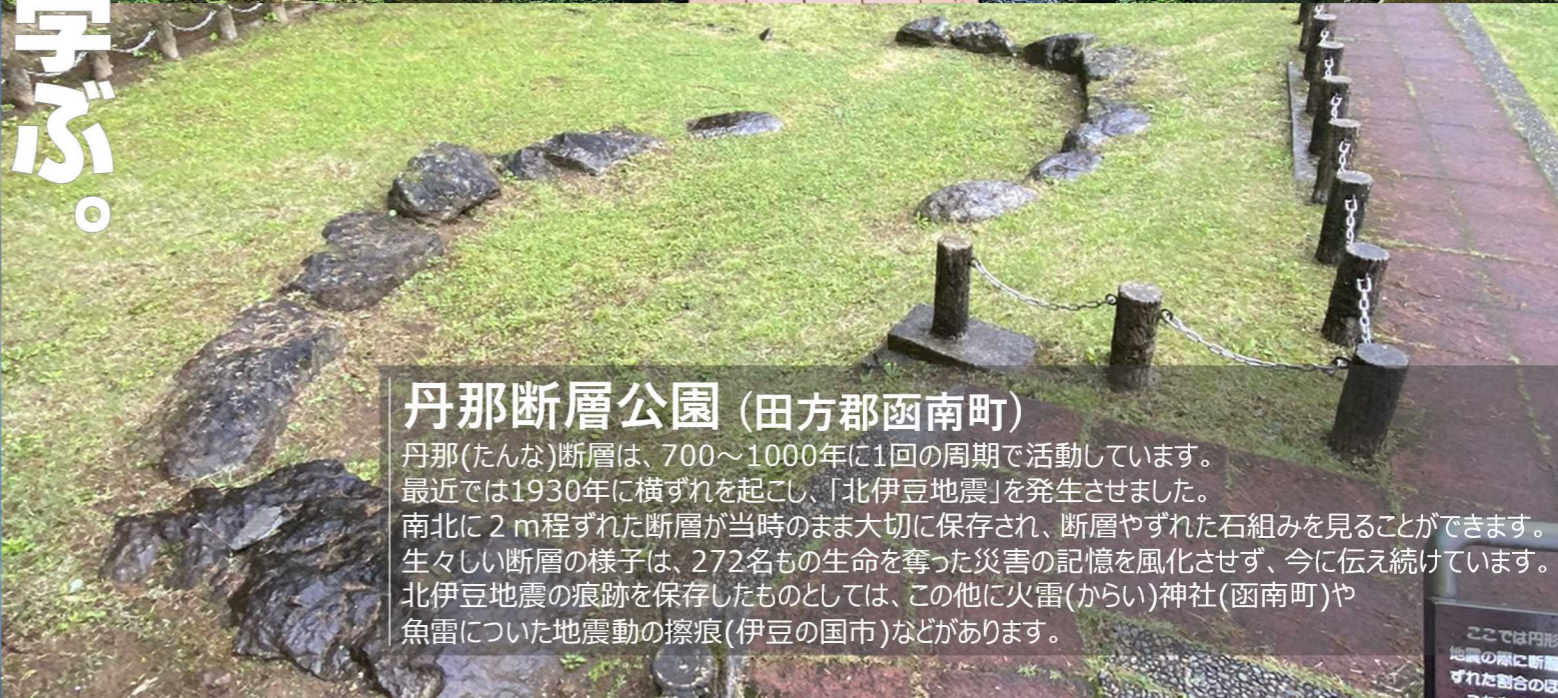
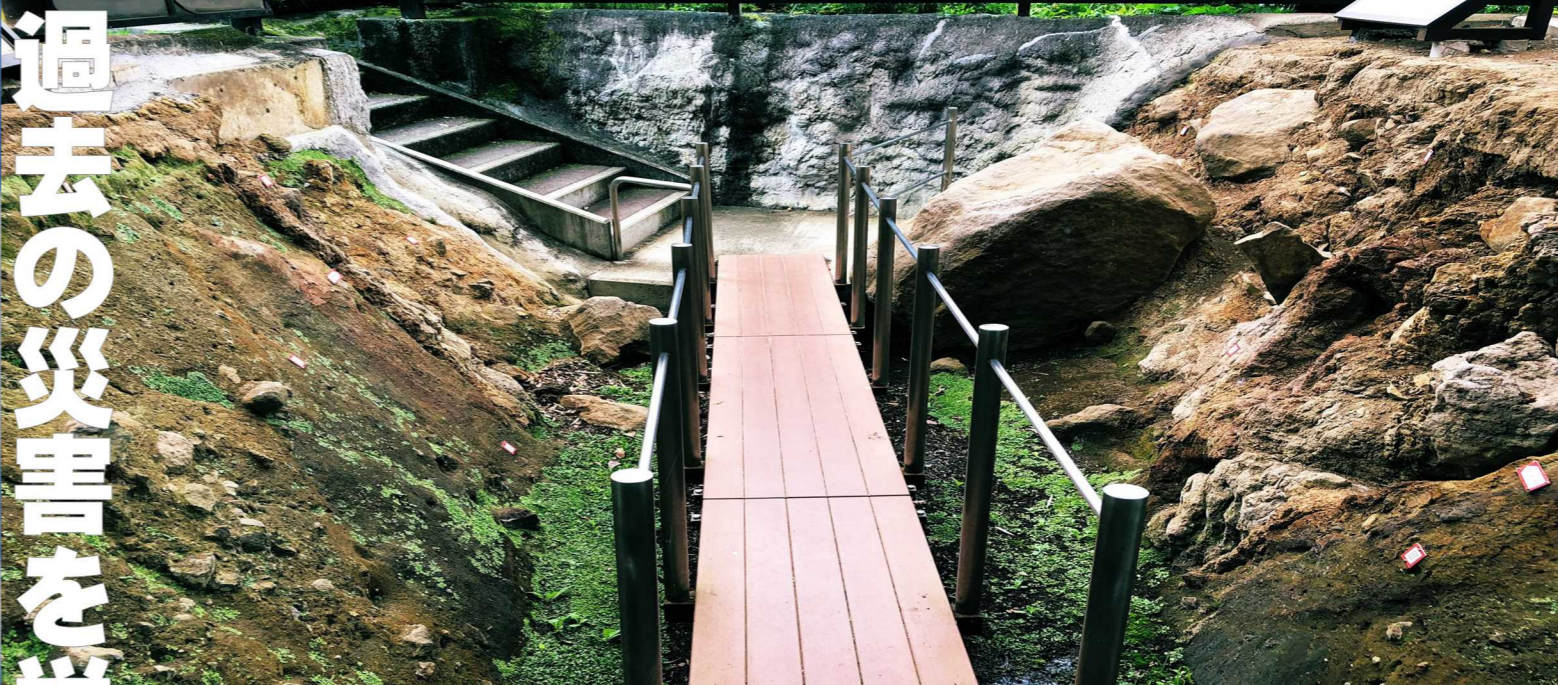
9月1日は、1923年に関東大震災が発生した日であり、国・地方公共団体等防災関係機関をはじめ、広く国民が災害について認識を深め、これに対処する心構えを準備するという趣旨で、「防災の日」として定められています。例年、各地で、大雨等の風水害が発生していることに加え、今後、大規模な地震の発生も危惧されています。関西ふじのくに通信9月号でも、静岡県の災害関係情報を御紹介します。普段、じっくり考えることの少ない防災ですが、この機会に、災害やその備えについて触れてみましょう。



## 沼津港展望水門 びゅうお (沼津市千本港町)

びゅうおは沼津港の内港に進入する津波から港の背後地の約50ha、9,000人を守るために作られました。津波をシャットアウトする扉体(ひたい)は、幅40m、重量は406tと日本最大級です。震度6弱以上の地震を感知すると、自動で扉体を降下させ、約5分で完全閉鎖することができます。普段は観光展望台にもなっているびゅうおですが、その実は、巨大な津波の来襲に備える大工のジオサイトです。

# 過去の災害を学ぶ。



## 丹那断層公園 (田方郡函南町)

丹那(たんな)断層は、700~1000年に1回の周期で活動しています。最近では1930年に横ずれを起こし、「北伊豆地震」が発生させました。南北に2m程ずれた断層が当時のまま大切に保存され、断層やずれた石組みを見ることができます。生々しい断層の様子は、272名もの生命を奪った災害の記憶を風化させず、今に伝え続けています。北伊豆地震の痕跡を保存したのものとしては、この他に火雷(からい)神社(函南町)や魚雷についた地震動の擦痕(伊豆の国市)などがあります。

## 関西地域の静岡情報 大阪で行われる静岡に関するイベント等の情報を御案内します!

### “静岡県移住相談会in大阪”

静岡県は、認定NPO法人ふるさと回帰支援センター調べによる2021年都道府県別移住希望地ランキングで2年連続1位となりました。大阪事務所では、静岡への移住を希望する方向けの相談会を行っています。  
 <日時> 令和4年10月14日、11月11日、12月9日  
 令和5年1月13日、3月10日  
 <場所> 静岡県大阪事務所(大阪市中央区備後町3-3-9備後町コイズミビル1F)  
 ※参加に当たっては、事前申込が必要です。詳しくは「静岡県公式 移住・定住情報サイトゆとりすと静岡」を参照してください→



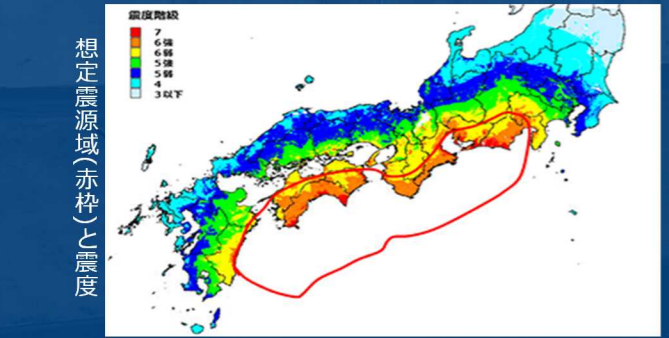
### “イレファンガールズアートコレクション ~第10回記念大EGC展~”

静岡県富士宮市出身で木版画家のナンシー諸善さんをはじめ、次世代を担う女性アーティストユニットによる展覧会が行われます。  
 <日時> 令和4年9月14日(水)~20日(火)  
 <場所> 阪急うめだ本店8F ハローカルチャー2・3 (大阪市北区角田町)

※入場無料

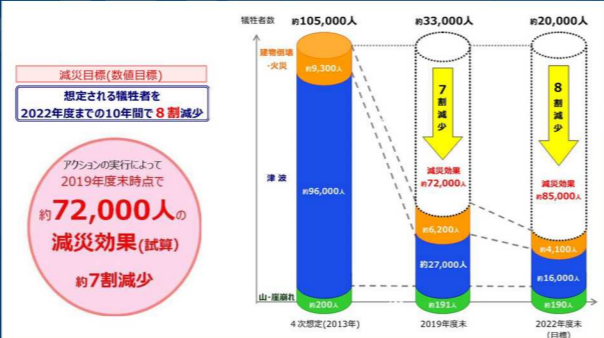
## 南海トラフ巨大地震

南海トラフ巨大地震は、東は静岡県の駿河湾から、西は宮崎県日向灘沖にかけての南海トラフに沿って起こるプレート境界型の地震です。この地震は、現在考えられる最大規模で、東日本大震災を引き起こした東北地方太平洋沖地震と同規模かやや大きな地震となると考えられています。東北地方太平洋沖地震との違いは、地震の震源域が住民の多く住んでいる陸域までかかっているため、津波も早いところでは数分で到達し、想定される被害が非常に大きくなっています。



## 地震・津波対策アクションプログラム2013

静岡県では、被害想定で推計された被害をできる限り減らすため、「地震津波対策アクションプログラム2013」を策定しました。「想定される犠牲者を2022年度までの10年間で8割減少させる」ことを目標に掲げ、ハード、ソフト両面の対策を進めています。中でも、①新たな津波対策、②超広域災害への対応、③複合災害・連続災害対策の三つを重点施策に掲げ、対策を強化しています。



## ふじのくに領事館 編集後記

平成30年6月18日の朝7時58分。地下鉄駅構内で激しい揺れを感じながら電車まで辿り着くも、運行中止。やむなく居室に戻りました。通勤ルートの安全を確認したうえで、何とか、事務所に到着しましたが、通りに面した事務所のガラスが粉々に割れていました。そして、この大阪北部地震では、6人の方が亡くなっていたのです。静岡でも伊豆半島沖地震(昭和49年)などで、大きな揺れをこれまで経験しているのですが、大都市大阪での地震体験は私にとっては最大の衝撃でした。しかし、南海トラフ巨大地震は、大阪にいても、静岡にいても、これまでにない規模のものとなるかもしれません。いついかなる時や場所でもより安心な行動ができるように、身の回りの再点検をしたいところです。《皆様からのご意見、ご感想、関西地域での新しい静岡情報をお待ちしております。》



領事(所長) 石ヶ谷彰英

静岡県の地震体験車